

発 言 通 告 書

発言者氏名	川本 伸
発言の会議	令和6年 2月27日 本会議
発言の種類	質 疑、一般質問、緊急質問、討 論、その他
質疑等の方式	一 括、一問一答
答弁を求める者	市 長

【件名及び発言の要旨】

1 施政方針について

- (1) 将来予測が不確実な時代にあって、限られた予算の中でメリハリのはっきりとした重点配分を行うための予算編成と財政調整基金の在り方について、市長の御所見を伺う。
- (2) ハード面での防災対策予算に重点配分されているが、効果的・効率的にハード対策が機能するように、ソフト面での機能強化も必要と考えるが、市長の御所見を伺う。

2 防災について

- (1) 能登半島地震と同規模の地震が三浦半島で起きれば、大動脈である国道や横浜横須賀道路の寸断、津波、港の損壊、崖崩れ、通信障害などが発生するおそれがあり、今までの被害想定を見直さなければならないと考えるが、市長の御所見を伺う。
- (2) 避難訓練ができていない、近所同士の顔の見える関係が築けていないなど、地域によって温度差が生じているという課題もある。このような地域の現状について、市長の御所見を伺う。
- (3) 個別避難計画の作成について、市長のお考えを伺う。

- (4) 同計画の作成に成功している自治体を参考事例として取り組むことについて、市長の御所見を伺う。
- (5) 国民の生命、財産、生活を守る「命のコンテナ」について、市長の御所見を伺う。
- (6) トイレトレーラーの導入を検討することについて、市長の御所見を伺う。
- (7) 新たな情報通信手段の確保のため、衛星ブロードバンドサービスの導入について、市長の御所見を伺う。

3 横須賀再興プランの柱Ⅰ「地域で支え合う福祉のまちの再興」について

(1) 各種ワクチン接種について

ア 帯状疱疹ワクチン助成について

(ア) 国における同ワクチンの定期接種化の進捗状況について、どのように把握されているのか伺う。

(イ) 同ワクチンを多くの方々に接種してもらうには、接種費用の助成が必須であると考える。本市単独の予算で実施することが難しいようであれば、改めて国や関係機関に対して財源の要望を行っていただきたいが、市長の御所見を伺う。

イ 新たな肺炎予防策として、疾患への周知や感染予防への注意喚起及びRSウイルス感染症ワクチン接種費用の助成を検討していただきたいが、市長の御所見を伺う。

ウ HPVワクチン接種における今後の啓発強化について、市長の御所見を伺う。

(2) バリアフリー推進について

ア 「誰も一人にさせないまち」を掲げる本市であればこそ、バリアフリー化の推進を図ることを検討していただきたいが、市長の御所見を伺う。

(3) アフターコロナにおける高齢者施策について

- ア 本市におけるコロナ禍の影響による65歳以上高齢者のフレイルの状況について、市長の御所見を伺う。
- イ コロナ禍前から実施している各種のフレイル予防事業について、アフターコロナのフレイルからの脱却の視点でリニューアルするという考えに対する市長の御所見を伺う。
- ウ コロナ禍に休止していた「認知症カフェ」に関して、新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行後における再開状況について御所見を伺う。
- エ 同カフェについて、事業再開がままならないことへの対策として、「認知症カフェ交流会」を開催することに対する市長の御所見を伺う。
- オ 全市的にアフターコロナの認知症施策を講じるとの考えに対する市長の御所見を伺う。

4 横須賀再興プランの柱2「子育て・教育環境の再興」について

(1) 放課後等デイサービスの支援の質について

- ア 事業所の急激な増加により、福祉分野での就労経験がない方が職員となるケースなども増え、保護者が職員に相談しづらい環境となっていることや、子どもの発達過程や気質を理解できずに悩んでいる職員もいることなどが課題となっている。このような現状について、市長のお考えを伺う。
- イ 専門分野での研修・実習の必要性を強く感じている。事業所数の増加とともに、課題解決への指導や職員の質の向上に努めることができるよう御検討いただきたいが、市長の御所見を伺う。

5 横須賀再興プランの柱5「未来につなぐ環境の保全・創出」について

(1) 電動車に関する施策について

- ア 「クリーンエネルギー自動車導入促進補助金」に関する自動車メーカー側の新たな評価項目として「自治体との災害時協定」が追加された際には、防災力強化のため、より多くのメーカーと協定を結ぶべきと考えるが、市長の御所見を伺う。
- イ 家庭用電気自動車等導入者奨励金事業において、今後のさらなるEVの普及、また新要件下での各自動車メーカーとの関係性の観点からも、交付件数、奨励金額の見直し、また交付対象の拡充を図るべきではないかと考えるが、市長の御所見を伺う。
- ウ 今後の事業者との調整において、観光施設をはじめとする、より多くの公共施設に、充電設備を導入することを検討してみたいかがかと考えるが、市長の御所見を伺う。

(2) 営農支援について

- ア 本市における専業農家が減少している実態について、市長のお考えを伺う。
- イ 農業に対してのイメージアップを図るなど、新規就農者獲得の取組を積極的に行ってはいかがか。市長のお考えを伺う。
- ウ 県内には、新規就農希望者や既存の農業者への相談対応をワンストップで受けられる「都市農業支援センター」を開設し、一定の効果を上げているところもあるようだが、市長はこのような施設があることを承知されているか。
- エ よこすか葉山農業協同組合長井支店が今年の夏に移転予定であると伺っている。その跡地を同支援センターとして活用することについて、農地にも近いため既存の農家の相談先としても便利で、野菜等の販路先となる「すかなごっそ」も隣接しているため最適地かと考えるが、市長の御所見を伺う。

6 行政のDX推進における郵送費の節約について

- (1) 本市が取り組んできたDX施策について、市長はどのような評価をされているのか。
- (2) 総務省が郵便料値上げに踏み切った場合、市民等に送付する各種通知や案内を郵送からメール等に切り替えることなどにつ

いて、その手だてはどのようにお考えか、市長の御所見を伺う。

- (3) アンケートや申請書などの紙ベースで提出が必要なものは現状どおりとし、お知らせや通知程度の内容であればメールやLINEなどのデジタルを生かすなど、通知内容の見直しや分類化を行い、郵便物低減を図ってはいかがか。市長の御所見を伺う。